

ご案内

連携登録医制度はじまりました。

ご登録いただくと…

- 連携登録医証の交付
- 当院からの優先的な逆紹介
- 当院が開催する症例検討会、研修会、講演会等をご案内
- 広報誌等の定期発送
- ホームページやパンフレットへ「連携登録医」として掲載（※希望される場合）等

随時、和泉市内の医科・歯科機関の皆様より申込を受け付けております。

既にお申込みいただいている皆様については、随時担当者よりご連絡差し上げます。

※和泉市外の医科・歯科機関の皆様のお申込みについては追ってご案内申し上げます。

登録医制度の詳細や申込方法については、地域連携センターまでお問合せください。

お申込み
受付中！



地域連携センターだより

発行/和泉市立総合医療センター 地域連携センター（毎月1回発行）
電話/直通 0725-41-3150 代表 0725-41-1331
FAX/直通 0725-41-2513



お知らせ

第4回 和泉市立総合医療センター クリニカルカンファレンスの開催 **Web開催**

日時：2021年3月25日（木）17：30～18：30

1. 『最近の内視鏡治療』

和泉市立総合医療センター 消化器内科 横村 明高

2. 『重症筋無力症 治療最前線』

和泉市立総合医療センター 脳神経内科 濱田 征宏

大阪府医師会生涯研修システム講習会に申請中です。
当講演会は医療従事者向けの講演会になります。

申込み・参加方法については同封書面をご参照ください。

2月の休診・代診について

休診・代診については、ホームページ（休診案内）をご確認いただくか、
地域連携センターまでお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。



和泉市立総合医療センター 地域連携センター

月～金曜日 9：00～19：00まで
土曜日 9：00～13：00まで
（但し祝日・年末年始の休日は除く）
TEL:0725-41-3150（直通）
FAX:0725-41-2513（直通）

地域連携センター
予約受付時間



主任 きのした ゆき 木下 由貴
もりうち たくみ 森内 拓実
課長 ことが えいじ 古賀 栄司

せきぐち ゆみこ 関口 由美子
つぼうち あや 坪内 彩
さかもと ちひろ 坂本 千紘

ながさか めぐみ 長坂 恵
かわはら のぞみ 河原 望
やまぐち ちひろ 山口 千尋

私たちは地域連携センター【前方連携・広報部門】のメンバーです！

地域医療機関からの紹介患者さまをスムーズにお受け入れするための調整や、地域医療機関の先生方と当院をつなぐ連携の窓口としての役割を担っています。

若手メンバーが多くまだまだ未熟な部門ですが、地域医療を支え・守る一員としてやる気元氣いっぱい頑張ります！

地域連携センター 前方連携・広報部門



病院の理念



- 1、患者さんの視点に立った安心・安全な医療の実践に努めます。
- 2、患者さんに最適な医療を提供できるように努めます。
- 3、新しいことにもチャレンジし、医療の質の向上に努めます。
- 4、思いやりのある医療人の育成に努めます。

形成外科からのご案内

形成外科が新設されて3年弱経過し、開業医の先生方からご紹介いただく機会が増え、この場をお借りして御礼申し上げます。

今回は、「傷・傷跡」についてお話をさせていただきます。「傷」には、急性創傷と慢性創傷があります。「急性創傷」の代表例は、「外傷創」であり、形成外科では、体表面とその近傍の組織損傷、顔面骨骨折、熱傷等を取り扱っています。縫合可能な傷は、形成外科的な縫合法で縫合を行い、不可能な場合は、軟膏療法や手術（植皮術や皮弁法）を傷の状態に応じて選択し、整容的・機能的改善を目指します。また、転倒やスポーツ外傷、交通事故により、顔面部を強打すると、鼻骨や頬骨、眼窩底、下顎骨等を骨折することが多々あります。手術が必要な場合もあるため、顔面部を強打した場合は、形成外科にご相談下さい。

次に、「慢性創傷」とは、一般的に、何らかの原因でできた傷が4週間以上にわたって治癒しない創傷と定義されます。代表例として、深いまたは広範囲にわたる外傷、皮膚潰瘍（糖

尿病性・動脈性・静脈性）、褥瘡が挙げられます。特に、深いまたは広範囲にわたる外傷では、急性期の中に専門的な治療を開始することにより、治療期間も短く済みますので、早めに形成外科にご紹介いただくことが望まれます。

「傷跡」は、前述の急性創傷後が代表例で、顔面神経麻痺後、先天性疾患（唇裂、多合指・趾等）、他科の術後など、機能面だけでなく、整容的に悩まれ、どこの科を受診したらよいかかわからず、おひとりでお悩んでらっしゃるケースも少なくありません。そのような声をお聞きした場合は、形成外科にご紹介ください。傷跡の状態とその患者さんの生活状況に応じた最善の方法をご提案させていただいております。

形成外科で治療を受けた患者さんが、笑顔で生活できるように精進して参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

形成外科
部長 井内 友美



和泉市立総合医療センター

形成外科 部長 井内 友美(いうちともみ)

〈資格〉

日本形成外科学会 専門医/乳房再建用エキスパンダー・インプラント 責任医師
皮膚腫瘍外科分野 指導医/臨床研修指導医
小児形成外科分野 指導医/医学博士

外来担当医表

	月	火	水	木	金	土
午前	-	井内 初診・再診	平野 初診・再診	井内 初診・再診	井内 初診・再診	-
午後	-	-	-	井内 再診のみ	-	-

※受付時間は、午前8:00~11:30です。

主な対象疾患と診療内容



対象疾患	診療内容	
外傷	<ul style="list-style-type: none"> 体表面やその近傍の組織損傷 顔面骨折(眼窩、頬骨、上下顎骨、鼻骨など) 熱傷(やけど)等 	傷跡が最小限となるように治療を行います。
傷跡	<ul style="list-style-type: none"> 目立つ傷あと 瘢痕拘縮(ひきつれ) ケロイド 等 	傷跡による悩みは大きく、正常に近い形態に戻すことによりコンプレックス解消の一助となることを目指しています。
皮膚・皮下腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> 良性腫瘍(ほくろ、粉瘤、脂肪種等) 皮膚癌 等 	特に顔面部の皮膚癌は、整容的に問題となる部位であり、術後の変形が最小限となる再建を目指しています。
眼瞼の変形	<ul style="list-style-type: none"> 眼瞼下垂(まぶたの下垂、先天性・後天性) 眼瞼内反(逆まつげ) 眼瞼外反 等 	眼瞼下垂は、瞼の皮膚や筋肉の腱膜が緩んで、瞼が下垂し、視野が狭くなり見えづらくなった状態です。加齢やコンタクトの長年の装用、先天性など原因は様々ですが、原因に応じた治療を行っています。
体表面の先天奇形	<ul style="list-style-type: none"> 顔面(唇裂口蓋裂等)、耳、手指、足趾の変形 臍の変形(臍ヘルニア、てべそ) 等 	左記で、幼少期に受けた術後の瘢痕や変形の修正も行っています。
他の診療科での癌切除後の変形	<ul style="list-style-type: none"> 顔面神経麻痺による顔面の変形 顔面~頸部癌術後の変形 乳癌術後の変形 等 	陳旧性の変形もお気軽にご相談下さい。

ケロイドに対しては、患者さんと一緒に治療のゴールを設定し、それに応じて、保存的加療、手術、放射線などを組み合わせて(または単独で)治療を行います。



TOPIC

地域に向けての感染対策研修会実施の取り組み



当院ICTの一員として日々感染対策活動に従事する小田 学看護副主任(感染管理認定看護師)が、地域の介護施設や教育機関からの依頼を受けて、感染研修会を実施しています。当院が実施する感染対策を共有、またそれぞれの現場が抱える悩みや疑問をエビデンスに基づき回答し、基幹病院として地域から求められる知識・情報の発信に努めております。



日時:10月28日(水)
対象:和泉市内の施設職員



日時:11月13日(金)
対象:和泉市内小中学校養護教員



日時:11月25日(水)
対象:和泉市内の訪問介護、通所サービスに従事している介護職員